

ACT (Artists Contemporary TOKAS) Vol. 1

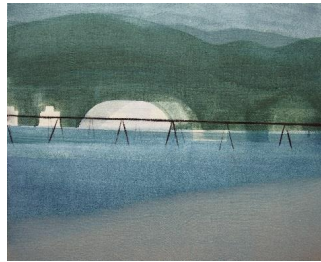
霞 はじめて たなびく

First Lingering Mist of Spring

TokyoTokyo
FESTIVAL

2019年2月23日(土)～3月24日(日)

トーキョーアーツアンドスペース本郷



トーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)では、これまで公募展や企画展、海外派遣などを通じて、アーティストを段階的、継続的に支援し、またその活動を紹介するプログラムを実施してきました。本年度より開始するシリーズ「ACT」(Artists Contemporary TOKAS)では、TOKASのプログラムに参加経験のあるアーティストを中心に、今注目すべき活動を行っているアーティストを企画展で紹介していきます。

初回となる本展は、季節の移ろいや風景の移り変わりを身体で感覚的に感じ取り、その経験をとおして世界を捉えなおし、今まで見ていなかった風景を映像や絵画によって浮かび上がらせる作家、佐藤雅晴、西村有、吉開菜央の3名を紹介します。

■ 展覧会概要

展覧会名：霞 はじめて たなびく

英語タイトル：First Lingering Mist of Spring

会期：2019年2月23日(土)～3月24日(日)

会場：トーキョーアーツアンドスペース本郷 (東京都文京区本郷2-4-16)

開館時間：11:00 - 19:00 (最終入場は30分前まで)

休館日：月曜日

入場料：無料

主催：トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)

参加作家：佐藤雅晴、西村有、吉開菜央

協力：イムラアートギャラリー、KAYOKOYUKI

ウェブサイト：<http://www.tokyoartsandspace.jp/>

< お問い合わせ >

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース(公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館) 広報担当：市川、竹野

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp

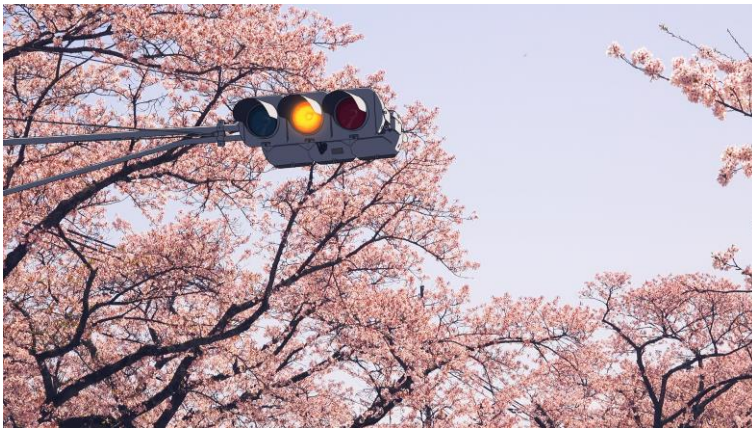
*TOKASオフィスは10月に上記住所に移転しました。

■ 展覧会について

古代中国で考え出された季節を表す方法の一つに七十二候があり、それぞれの名前は気象や動植物の変化を表す文章になっています。その暦は江戸時代に日本に取り入れられ、暦学者によって日本の風景や気候に合うように一部が書き換えられました。本展覧会が始まる2月下旬は、七十二候で「霞始靄」（かすみはじめてたなびく）と呼ばれています。冷たく乾燥していた空気が徐々に潤み、遠くに見える景色が霞んで見えるようになります。湿気を帯びた空気が浮遊するちりなどと結合し、光に変化をもたらすからです。本展で紹介する3名は、そのようなささやかな日常の変化を身体で敏感に感じとり、レイヤーを重ね、今まで見えていなかった風景を展示空間に浮かび上がらせます。

■ 参加作家／略歴／広報用画像 ※この他にも広報用画像を用意しております。詳しくは広報担当までお問い合わせください。

佐藤雅晴 SATO Masaharu



1. 《福島尾行》シングルチャンネルビデオ、2018

実際の風景を映像に撮り、1コマ1コマをパソコン上でトレースし、アニメーションを制作しています。東京の変わりゆく景色を描いた《東京尾行》（2015-2016年）に続き、本展では福島の日常を描いた新作の映像インスタレーション《福島尾行》（2018年）を発表。佐藤が癌闘病中に制作した本作は、震災以降、旅で訪れた福島の風景を癌に侵されていく自身の身体と重ね合わせるように取り込み、一部をアニメーション化することで、日常と非日常の境界を曖昧にし、鑑賞者を映像の中の旅へと誘います。

■プロフィール

1973年大分県生まれ。1999年東京藝術大学大学院美術科絵画専攻修了。2000-2002年国立デュッセルドルフクンストアカデミー研究生として在籍。

近年の主な展覧会に、「THE ドラえもん展」（森アーツセンターギャラリー、東京／高岡市美術館、富山／松坂屋美術館、愛知、2017-2018巡回）、「清流の国ぎふ芸術祭 Art Award IN THE CUBE 2017」（岐阜県美術館、2017）、「ハラドキュメンツ10 佐藤雅晴—東京尾行」（原美術館、東京、2016）、「日常／オフレコ」（KAAT 神奈川芸術劇場、2014）、「樂園創造（パラダイス）—芸術と日常の新地平—vol.5 佐藤雅晴」（αM、東京、2013）など。受賞歴に「第12回岡本太郎現代芸術賞」特別賞（2009）、「第15回文化庁メディア芸術祭」アート部門審査委員会推薦（2011）。

2019年2月9日より開催の「六本木クロッシング2019展：つないでみる」（森美術館、東京）と2019年2月15日より開催の個展「死神先生」（KEN NAKAHASHI、東京）に出展予定。

西村 有 NISHIMURA Yu 「TWS-Emerging 2013」 参加



2. 《factory》油彩、キャンバス、2018

実際にある風景を再現するのではなく、作家自身の日常的な気づきを重ねて「今」を描いています。どこかで見たことのあるような風景や人物、あるいは物語のワンシーンを思わせるような絵画は、空間に展示されることで隣り合うそれぞれの作品との間に、自然と物語が生まれるように構成されます。本展に際して、初春にまつわる新作ペインティングを出展予定。作品を見た人がまた新たな物語を紡ぎ出すような展示を目指します。

■プロフィール

1982年神奈川県生まれ。2004年多摩美術大学美術学部絵画学科油画専攻卒業。

近年の主な展覧会に、「あざみ野コンテンポラリー vol.9 今もゆれている」(横浜市民ギャラリーあざみ野、2018)、「CONDO 上海 2018」(GALLERY VACANCY、中国、2018)、「portrait」(KAYOKOYUKI、東京、2017)、「project N 61 西村有」(東京オペラシティーアートギャラリー、2015)、「TWS-Emerging 運ばれる景色」(トーキョーワンダーサイト本郷、2013)など。受賞歴に、絹谷幸二賞(2017)、FACE 2014 損保ジャパン美術賞優秀賞(2014)など。

2019年3月24日まで開催している「アペルト09 西村有」(金沢21世紀美術館、石川、2018)に出展中。

吉開菜央 YOSHIGAI Nao



3. 『静坐社』映画、2017

身体的に得られた感覚を映像と音で表し、新たな映像表現を追求しています。2017年の映画『静坐社』は、大正期に流行した心身修養法のひとつである岡田式静坐法を展開していた京都の静坐社で、建物が取り壊される直前に制作。定められた呼吸と姿勢を保ち、腹に力を込めて静かに座る実践にリンクさせ、身体の動きに伴い生まれる音を丁寧に描き出し、普段気づかなかった風景を表出させました。吉開は映画制作だけでなく、米津玄師のミュージックビデオ「Lemon」でのダンスをはじめ、振付やミュージックビデオの制作も行っており、展覧会では見る者の身体に一体となるような映像インスタレーションを発表する予定です。

■プロフィール

1987年山口県生まれ。日本女子体育大学舞踊学専攻卒業、東京藝術大学大学院映像研究科修了。

近年の主な展覧会に、「めがねと旅する美術展」（青森県立美術館、島根県立石見美術館、静岡県立美術館、2018-2019巡回）、「Primal Water」（Bellagio Gallery of Fine Art、ラスベガス、アメリカ、2018）、「ほったまるびより—OJUNと吉開菜央」（Minatomachi Art Table Nagoya、愛知、2016）、「呼吸する部屋」（AIKOWADA GALLERY、東京、2017）など。受賞歴に文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門新人賞受賞（2015）、YCAM 架空の映画音楽の為の映像コンペティション最優秀賞受賞（坂本龍一氏推薦、2013）、那須国際短編映画祭観光部門出品じゃらん賞受賞（2013）。

2019年3月10日まで「オープン・スペース2018 イン・トランジション」（NTTインターコミュニケーションセンター-[ICC]、東京）にて《Grand Bouquet/いま いちばん美しいあなたたちへ》（2018）を出展中。

■ 関連イベント

※参加作家は変更となる場合がございます。予めご了承ください。日本語のみ。

参加作家によるトーク

日 時：2月23日(土)16:30 - 18:00 (予定)
 出 演：佐藤雅晴、西村 有、吉開菜央
 会 場：トーキョーアーツアンドスペース本郷

ACT (Artists Contemporary TOKAS) vol.1
[霞 はじめて たなびく First Lingering Mist of Spring]
広報用画像申込書

Fax 番号: **03-5245-1154**

Email: **press@tokyoartsandspace.jp**

トーキョーアーツアンドスペース広報担当宛

(ご希望の広報用画像番号にチェックを入れてください)

1 2 3

掲載媒体名(特集・コーナー名)

種別 TV ラジオ 新聞 フリーペーパー ネット媒体 その他()

掲載/放送予定日 月 日 発売/放送(月号)

貴社名

ご担当者名

Tel

Fax

E-mail(画像データはメールでお送りします。必ずご記入ください)

画像到着希望日 月 日 時頃までに送付

※ご記入いただいた個人情報は、お問い合わせ及びご要望に対応させていただく目的のみ利用させていただきます。

※お急ぎの場合はメールもしくは、お電話でお問い合わせください。

【注意事項】

※画像データは申請時の目的以外での使用はできません。ご掲載や放送以外の目的での画像のご利用はご遠慮ください。また、申請時とは別の媒体での使用、再販等の場合は改めて申請してください。

※画像データは、メールにてお送りします。お手元に届くまで1~2日(土日祝休み)ほど頂戴いたしますのでご了承ください。

※作品画像は全図でご使用いただき、トリミング、文字載せはお控えください。必ず所定のキャプション等を併記してください。

※提供した画像データは、使用后速やかに破棄してください。画像が無断で第三者に利用されることのないよう、Web サイトへのご掲載は、画像にコピーガードや転載不可の明記をしてください。

※情報確認のため、事前に記事原稿をお送りください。

※取材の内容が収録された番組等はビデオ・DVD を一部、印刷物(掲載紙・雑誌)については現物を1部もしくはコピーの場合は3部ご送付ください。Web サイトの場合は、掲載時に URL をお知らせください。

<お問い合わせ> ※校正ゲラ及び掲載誌紙・DVD 等は下記宛にお送りください。

〒135-0022 東京都江東区三好4-1-1 東京都現代美術館内

トーキョーアーツアンドスペース (公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都現代美術館)
広報担当: 市川、竹野

TEL: 03-5245-1142 / FAX: 03-5245-1154 / E-mail: press@tokyoartsandspace.jp